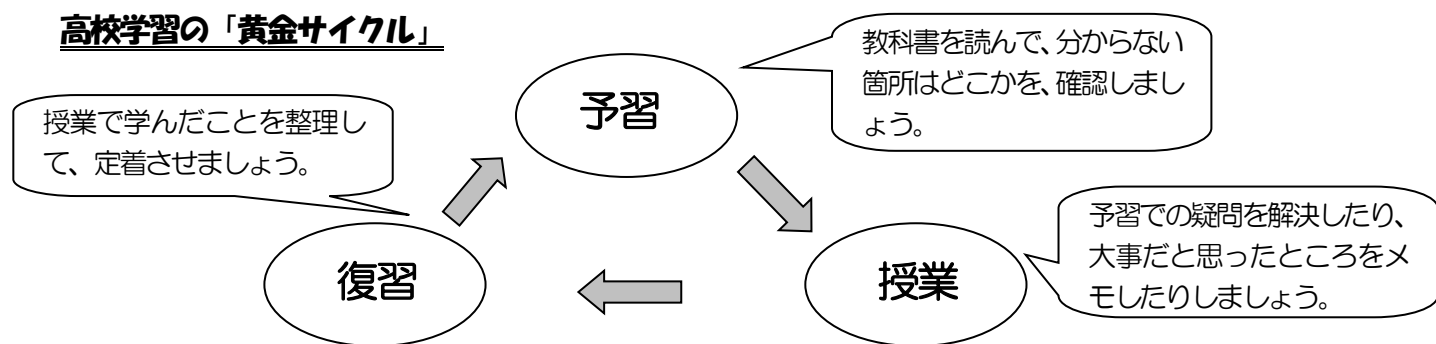


学校生活に慣れてきた今こそ、学習習慣の確立を！

1学期中間試験が終わり、「高校ってこんな程度か」と思っている人はいませんか。中間試験は中学からの橋渡し部分です。本当の高校の内容は今から始まります。今こそ、高校生としての「学習習慣」を確立させましょう。

今回の試験勉強で、うまく勉強が進まない科目があった人は、授業をどれくらい大切に受けていたかを振り返ってみてください。わからないことがあったのに、そのまま放置してここまでできてしまったことはないでしょうか？予習が不十分で授業を受けたために、授業を受けた直後はわかったつもりが、実際はよくわかっていなかったことはありませんか？思い当たるところがある人は、学習方法を修正しましょう。

ある統計によれば、1年生の5月から1学期期末試験までの学習習慣が今後3年間で決定づけるそうです。この時期に机に向かって学習する習慣がきちんと身についた人は、今後の学習時間も安定して推移し、学年が上がるにつれて学習時間を増やすこともスムーズにできます。その一方、学習の習慣が身につかなかった人（本当にしない人、普段はせずに試験の時だけ学習する人、したりしなかったり普段にムラがある人）は、今後勉強時間を増やすのに苦労する傾向があるということです。下に示した学習の「黄金サイクル」を回していきましょう。



行事予定 (6月)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 県総体・県総文① (特別時間割)	4 県総体・県総文② (特別時間割)	5 県総体・ 県総文③
6 県総体・ 県総文④	7	8	9	10	11	12
13	14 紫錦祭説明会	15 尿検査 (二次)	16 交通安全教室 (7限)	17	18	19 北信越 大会①
20 北信越 大会②	21	22 グッドマナー キャンペーン①	23 グッドマナー キャンペーン②	24 1学期期末試験①	25 1学期期末試験②	26
27	28 1学期期末試験③	29 1学期期末試験④	30 1学期期末試験⑤ 図書館選書会			

遠足 (5/21) の代わりに、レクリエーションを行いました！

遠足が中止となった代わりに、学年団の企画によりレクリエーション（新聞紙タワー・謎解き脱出ゲーム）が行われ、体育館や各ホームで楽しい時間を過ごすことができました。コロナ禍でさまざまな制限はありますが、今後も出来る範囲で楽しんでいきたいですね。



新聞紙タワー結果発表!!

1位	14H	1238cm
2位	11H	1117cm
3位	12H	972cm
4位	16H	935cm
5位	13H	872cm
6位	15H	844cm
7位	17H	805cm
8位	18H	673cm



1学期期末試験 (6/24~30)

今月末には早くも期末試験を迎えます。中間試験よりも、試験期間も科目数も増えますので、以下の点に注意をして、試験に臨みましょう。フォーサイトを利用して、早めに計画を立てるのもいいですね。

- ①日々授業の予習や復習を欠かさない
- ②計画的に試験勉強を進めていく
- ③科目ごとに勉強量のムラを作らない

【興味のある学部系統】 (単位：%)

選択肢	校内	全国
理・工・情報系	17.6	12.6
医・歯・薬系	7.8	7.8
農・水産・獣医畜産系	2.8	2.2
文・語学系	4.7	5.2
教育系	7.2	9.5
法・経済・商・社会系	8.2	7.6
体育・芸術系	1.9	7.1
医療看護・福祉系	8.2	12.2
人間・国際・総合などの学際系	3.8	4.2
家政・生活科学系	0.9	1.3
進学希望だが内容は未定	32.0	20.8
その他	5.4	5.0

文理選択に向けて

4月初めに実施した「スタディーサポート」によると、本校1年生の興味のある学部系統は、右のようになっています。全国平均と同様に、「理・工・情報系」「医療看護・福祉系」に興味を持っている人が多いようです。一方で、「進学希望だが内容は未定」という生徒が、全国平均より多く、3割以上います。

秋の文理選択に向けて、自分の興味関心や適性を見極めていきましょう。これから課題探究で行う「学問調べ」や「職業調べ」で自分の興味を探ったり、気になる大学や職業をインターネットで調べてみたりするのもよいですね。コロナ禍の現在、多くの大学がホームページで情報を公開していますので、積極的に調べてみましょう。

ベネッセ総合学力テスト (第1回7月10日)

全国約50万人の生徒が受験する外部試験です。年間3回（第2回は11月、第3回は1月）行われます。授業での学習を確認する定期試験とは異なり、初見の問題でどこまでできるかを試す、よい機会です。7月時点での自己の学力を知るとともに、全国を意識して、更なる学力向上を目指す機会としてください。